

デーヴォ ガイド



2024.9.30-10.6

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。



13:23 そのころまた私は、アシュドデ人、アンモン人、モアブ人の女を妻にしているユダヤ人たちに気がついた。

13:24 彼らの子どもの半分は、アシュドデのことばか、あるいはそれぞれほかのことばを話して、ユダヤのことばが分からなかった。

13:25 そこで私は彼らを詰問してののしり、そのうちの数人を打って毛を引き抜き、神にかけて誓わせて言った。「あなたがたの娘を彼らの息子に嫁がせてはならない。また、彼らの娘をあなたがたの息子、あるいはあなたがた自身の妻としてはならない。

13:26 イスラエルの王ソロモンも、このことで罪を犯したではないか。多くの国の中で彼のような王はいなかった。彼は神に愛され、神は彼をイスラエル全土を治める王としたのに、その彼にさえ異国人の女たちが罪を犯させてしまった。

13:27 あなたがたについても、異国人の女を妻とし、私たちの神の信頼を裏切るといふ、この大きな悪が行われていることを聞かなければならないのか。」

13:28 大祭司エルヤンプの子エホヤダの子の一人は、ホロン人サンバラテの婿であった。それで、私は彼を私のところから追い出した。

13:29 私の神よ、どうか彼らのことを覚えていてください。彼らは祭司職を汚し、祭司職とレビ人たちの契約を汚したのです。

13:30 私は異教的なもの一切から彼らをきよめ、祭司とレビ人のそれぞれの務めにしがって職務に就かせ、

13:31 定められた時に行う薪のささげ物と、初物についても規定を定めた。私の神よ、ど

うか私を覚えて、いつくしんでください。

イスラエルがなぜこのような苦勞をして、城壁を再建したかといえば、彼らが神様に背いて滅ぼされたからです。なぜ背いたかといえば、その大きな原因は異教徒との結婚にありました。結婚だけでなく、今日の風習を受け入れ、結局神様から遠ざかり、次第に背くようになってしまったのです。

ネヘミヤの戦いは城壁ができて終りではありませんでした。この信仰の問題が解決しなければ、何も解決しないのです。

見るところの解決で安心して終りにしないようにしましょう。問題の原因がどこにあるのか、神様との関係がどうなっているのかを、教えていただきます。そして本当の解決に向かいましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



1日 火曜

ホセア



1:1 ユダの王ウジヤ、ヨタム、アハズ、ヒゼキヤの時代、イスラエルの王、ヨアシュの子ヤロブアムの時代に、ベエリの子ホセアにあった【主】のことは。

1:2 【主】がホセアに語られたことのはじめ。【主】はホセアに言われた。「行って、姦淫の女と姦淫の子らを引き取れ。この国は【主】に背を向け、淫行にふけているからだ。」

1:3 彼は行って、ディブライムの娘ゴメルを妻とした。彼女は身ごもって、彼に男の子を産んだ。

1:4 【主】は彼に言われた。「その子をイズレエルと名づけよ。しばらくすれば、わたしがイズレエルでの流血のゆえにエフーの家を罰し、イスラエルの家の王国を終わらせるからだ。」

1:5 その日、わたしはイズレエルの平原で、イスラエルの弓を折る。」

1:6 ゴメルはまた身ごもって、女の子を産んだ。主は彼に言われた。「その子をロ・ルハマと名づけよ。わたしはもう二度とイスラエルの家をあわれむことはなく、決して彼らを赦さないからだ。」

1:7 しかし、わたしはユダの家をあわれみ、彼らの神、【主】として、彼らを救う。ただし、弓、剣、戦い、あるいは馬、騎兵によって救うのではない。」

1:8 彼女はロ・ルハマを乳離れさせると、身ごもって男の子を産んだ。

1:9 主は言われた。「その子をロ・アンミと名づけよ。あなたがたはわたしの民ではなく、わたしはあなたがたの神ではないからだ。」

1:10 イスラエルの子らの数は、量ることも数えることもできない海の砂のようになる。「あなたがたはわたしの民ではない」と言われたその場所で、彼らは「生ける神の子ら」と言われる。

1:11 ユダの人々とイスラエルの人々は一つに集められ、一人のかしらを立ててその地から上って来る。まことに、イズレエルの日は大いなるものとなる。

ホセアは自分の生涯、特に結婚において体験的に神様から語られて、それを民に預言した人です。「姦淫の女」というのは、すでに姦淫を犯していたのか、または姦淫の性質があり将来そうなるというのかは、議論が分かれるところです。いずれにしてもホセアは、結婚した相手から裏切られる苦しみを経験します。しかしそれによって、民から裏切られる神様の痛みと、それを赦す無限の愛を経験するのです。

「姦淫の女」とは、神様意外のものを拝んだり、または従ったりする、私たち人間の信仰的姦淫を示唆するものです。姦淫という行為は醜いイメージがありますが、神ならぬものを神として慕うなら、それも醜い姦淫なのだとことを知っておくべきでしょう。

偶像を拝むことはないでしょうが、神様意外のものを神のように慕っているようなところがないかどうか、謙遜に考えてみましょう。私を造り、私のために十字架にまでかかってくださった、主イエスへの愛が本物であり続けるために…。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



2日 水曜

ホセア



2:1 言え。あなたがたの兄弟には、「わたしの民」と。あなたがたの姉妹には、「あわれまれる者」と。
2:2 「問いただせ。あなたがたの母を問いただせ。彼女はわたしの妻ではなく、わたしは彼女の夫ではないから。その顔から淫行を、その乳房の間から姦淫を取り除け。
2:3 そうでなければ、わたしは彼女の衣をはぎ取って裸にし、生まれた日のようにして彼女をさらし、荒野のようにし、砂漠の地のようにして、渇きで彼女を死なせる。
2:4 彼女の子らを、わたしはあわれまない。彼らは姦淫の子らだから。
2:5 彼らの母は姦淫を行い、彼らをはらんで恥をさらした。彼女は言ったものだ。『私の愛人たちの後について行こう。彼らはパンと水、羊毛と麻、油と飲み物をくれる』と。
2:6 それゆえ、わたしは茨で彼女の道に垣根を巡らし、彼女が通い路を見つけないように石垣を積む。
2:7 彼女は愛人たちの後を追っても、追いつけない。彼らを捜し求めても、見つけれない。彼女は言う。『私は初めの夫のところに戻ろう。あのころは今よりも幸せだったから』と。
2:8 しかし彼女は知らない。このわたしが、穀物と新しいぶどう酒と油を彼女に与えたのを。わたしが銀と金を多く与えると、彼らはそれをバアルに造り上げたのだ。
2:9 それゆえ、わたしはその時になれば、わたしの穀物を取り返す。その時期になれば、わたしの新しいぶどう酒を。また、彼女の裸をおおっているわたしの羊毛と麻をはぎ取る。

2:10 今、わたしは彼女の恥を、愛人たちの目の前で暴く。彼女をわたしの手から救い出せる者はいない。

2:11 わたしは彼女のすべての喜びを、祭り、新月祭、安息日、すべての例祭を終わらせる。

2:12 『これは、愛人たちが払ってくれた私への報酬』と彼女が言った、あのぶどうの木といちじくの木を荒れずたらせる。わたしはこれを林に変えて、野の獣が貪り食うようにする。

2:13 彼女がバアルの神々に仕えた日々ゆえに、わたしは彼女を罰する。彼女はバアルの神々に香をたき、耳輪や飾りを付けて愛人たちの後について行き、このわたしを忘れた。——【主】のことば。

夫である自分のもとから離れて、恋人たちのところへ行ってしまった妻に対して、ホセアはやりきれない悲しみと嘆きの中にいたことでしょう。それは子どもたちにとっても悲しみと恥であったに違いありません。

そしてそれはまさに神のもとから離れて、バアルなどの偶像に走った、イスラエルの民と同じだということです。さらにそれは神意外のものを神の代わり慕い求める者の姿です。神様を愛し従うことを忘れて、別のものを神の代わりに求めていたとしても、そのための費用やエネルギー主からのものです。「酒と油とを与えた者、また、バアルのために使った銀と金を多く与えた者が、わたしであるのを、彼女は知らなかった。」ということになっているのです。

妻に裏切られた夫の報復がここに書かれていますが、神様も同じようにしてもおかしくないのだということが分ります。しかしこの後には、神様の驚くべき赦しが預言されます。

自分自身、神様を裏切ったことがあるなら、そ

れを早いうちに悔い改めて、方向転換しましょう。神様の愛は大きいことを心にとめて、その愛に頼りましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



3日 木曜

ホセア



2:14 それゆえ、見よ、わたしは彼女を誘い、荒野に連れて行って優しく彼女に語りよ。

2:15 わたしはそこを彼女のためにぶどう畑にし、アコルの谷を望みの門とする。その場所で彼女は答える。若いころのように、エジプトの地から上って来たときのように。

2:16 その日になると——【主】のことば——あなたはわたしを『私の夫』と呼び、もう『私のバアル』とは呼ばない。

2:17 わたしがもろもろのバアルの名を彼女の口から取り除く。その名はもう覚えられないことはない。

2:18 その日、わたしは彼らのために、野の獣、空の鳥、地面を這うものと契約を結ぶ。わたしは弓と剣と戦いを地から絶やし、彼らを安らかに休ませる。

2:19 わたしは永遠に、あなたと契りを結ぶ。義とさばきと、恵みとあわれみをもって、あなたと契りを結ぶ。

2:20 真実をもって、あなたと契りを結ぶ。このとき、あなたは【主】を知る。

2:21 その日、わたしは応えて言う。——【主】のことば——わたしは天に答え、天は地に答え、

2:22 地は、穀物と新しいぶどう酒と油に答え、それらはイスラエルに答える。

2:23 わたしは、わたしのために地に彼女を蒔き、あわれまれない者をあわれむ。わたしは、わたしの民ではない者に『あなたはわたしの民』と言い、彼は『あなたは私の神』と答える。』

ホセアの許を去って、他の男、それも複数の相手と暮らした姦淫の女ゴメルの行動は、まさに唯一の

神である主ではなく、別のものを頼り従ってしまったイスラエルを表すものです。そしてそれは救われていながら、神以外のものを慕って離れてしまったクリスチャンの姿でもあります。

「それゆえ…」とありますから、神様はそのような者に対して何をなさるかと言えば、「かの世をくどいて」とあります。主はあくまでも特別な愛の関係を続けてくださるのです。驚くべき不変の愛です。

なぜ「荒野に連れて行って」なのかといえば、そこはかつてイスラエルが主の訓練を受けたところであり、それゆえに主のみわざを経験した所です。す。信仰者にとっては荒野のような時期は、後には主との暖かい絆が結ばれるときでもあるのです。

そして16節からは、主との関係が回復する希望が宣言されています。もしもどこか主との関係が冷えてしまっているものを感じたなら、主がこのような不変の愛で待っておられることを信じましょう。そして絆がさらに深まることを信じて、祈りつつ主のみこころに帰りましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



4日 金曜

ホセア



3:1 【主】は私に言われた。「再び行って、夫に愛されているながら姦通している女を愛しなさい。ちょうど、ほかの神々の方を向いて干しぶどうの菓子愛しているイスラエルの子らを、【主】が愛しているように。」

3:2 それで私は、銀十五シケルと、大麥一ホメルと大麥一レテクで彼女を買取り、

3:3 彼女に言った。「これから長く、私のところにとどまりなさい。もう姦淫をしたり、ほかの男と通じたりしてはいけない。私も、あなたにとどまろう。」

3:4 これは、イスラエルの子らが、これから長く、王もなく、首長もなく、いけにえも石の柱もないところに、エポデもテラフィムもないところにとどまるからだ。

3:5 その後で、イスラエルの子らは帰って来て、自分たちの神である【主】と、自分たちの王ダビデを尋ね求める。そして終わりの日には、【主】とそのすばらしさにおののく。

夫のもとから去って姦通し、男のもとを転々としたゴメルでしたが、結局は奴隷となってしまいました。それはまさに神様から愛されているのにも関わらず、その愛を忘れて神様から離れて行く人のようです。人間の常識ではそのような人に夫がまた手を差し伸べることなど考えられませんが、神様は「姦通している女を愛しなさい」と言われます。

それはまさに神様の愛だからです。神様は御自身の顔に泥を塗られるようなことをされても、赦して愛してくださいます。しかも「銀15シケルと大麥一ホメルと大麥一レテク」という代価以上の、すなわち御自身の命という代価で、奴隷状態の私たちを買取ってくださったのです。

主はそれはまさにイスラエルのことを考えておられるのだと明言なさいます。この後イスラエルはゴ

メルのように、主から離れて悲惨な状況に陥るからです。主はそれを見越して、回復のために、このような愛を示しておられたのです。

私たちが主のみ心から離れたとしても、主はそれを見越した上で、回復を用意しておられます。主の愛は人間の常識も、想定も、限界も超えているのです。

この主の愛に応えましょう。この愛を心に刻みましょ。ホセアのように徹底的に人を赦すことによつてのみ表される主の愛があります。主の愛を表しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうホセアですか）

④この世にあって何を実践しますか？



5日 土曜

ホセア



4:1 イスラエルの子らよ、【主】のことばを聞け。【主】はこの地に住む者を訴えられる。この地には真実もなく、誠実さもなく、神を知ることもないからだ。

4:2 呪いと、欺きと、人殺しと、盗みと、姦通がはびこり、流血に流血が続いている。

4:3 それゆえ、この地は喪に服し、そこに住む者はみな、野の獣、空の鳥とともに衰え果て、海の魚さえも一掃される。

4:4 「だれも口論してはならない。だれも人を責めてはならない。あなたの民は、祭司と口論する者のようだ。

4:5 あなたは昼つまずき、預言者も、あなたとともに夜つまずく。わたしはあなたの母を滅ぼす。

4:6 わたしの民は知識がないので滅ぼされる。あなたが知識を退けたので、わたしもあなたを退け、わたしの祭司としない。あなたがあなたの神のおしえを忘れたので、わたしもまた、あなたの子らを忘れる。

4:7 彼らは増えるにしたがって、ますますわたしに罪を犯した。わたしは彼らの栄光を恥に変える。

4:8 彼らは、わたしの民の罪のきよめのささげ物を貪り食い、民の咎に望みをかけている。

4:9 民も祭司も同じようになる。わたしはその生き方のゆえに彼らを罰し、その行いのゆえに彼らに報復する。

4:10 彼らは食べても満たされず、姦淫しても増えることはない。彼らが【主】を捨てて、姦淫を続けるからだ。

神様はイスラエルの罪について明確に告発されます。それはイスラエルを滅ぼすためではなく、罪を

認めて、悔い改めて主に立ち返るためです。

私たちも罪が明かになってしまふときがありますが、それは主の愛のゆえであることを知りましょう。主はホセアに示したように、変わらない愛で赦してくださるのです。

祭司を責めておられるのは、祭司こそがイスラエルの罪に対して、信仰への回帰を担うべきであったのに、それをしなかったからです。主がイスラエルの社会を形成され、それぞれの役割を与えたのに、それが機能しませんでした。

教会でも主の役割と責任がありますが、それらが機能するように、私たちは主に従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



6日 日曜

ホセア



4:11 ぶどう酒、新しいぶどう酒は良識を失わせる。

4:12 わたしの民は木に伺いを立て、棒が彼らに事を告げる。これは、姦淫の霊が彼らを迷わせ、彼らが自分の神のもとを離れて、姦淫したからだ。

4:13 彼らは山々の頂でいけにえを献げ、丘の上で犠牲を供える。榎の木、ポプラ、テレビンの木の下で。その木陰が心地よいからだ。それで、あなたがたの娘は淫行をし、あなたがたの嫁は姦通をする。

4:14 わたしは、あなたがたの娘が姦淫をしても、あなたがたの嫁が姦通をしても、罰しない。男たちは遊女とともに離れ去り、神殿娼婦とともにいけにえを献げている。悟ることのない民は滅びに落ちる。

4:15 イスラエルよ。あなたが淫行をしても、ユダを咎める者にさせてはならない。ギルガルに行くてはならない。ベテ・アベンに上ってはならない。『【主】は生きておられる』と誓ってはならない。

4:16 まことに、頑なな雌牛のようにイスラエルは頑迷だ。今、【主】は彼らを広いところにいる子羊のように養うだろうか。

4:17 エフライムは偶像にくみしている。そのなすに任せるがよい。

4:18 彼らは酒を飲んで、淫行にふけり、淫らなふるまいで恥を愛してやまない。

4:19 風はその翼で彼らを巻き込む。彼らは自分たちのいけにえのゆえに恥を見る。」

偶像を慕っている民の様子が書かれています。偶像が木できている場合は、「木に伺いを立て」ということになってしまいます。偶像に従うことの愚

かさは明らかですが、神の代わりに、神のように従うことも同じです。愚かなことです。

「娘が姦淫しても罰しない」というのは、寛容さというよりも、男達の罪を明かにするためです。「神殿娼婦とともにいけにえを献げて」と、告発しています。

私たちの罪はこのように社会的にはいろいろ複雑で、いかようにも分析できるかもしれませんが。しかし主の目には単純で、明らかです。罪は主の前には明確なのです。

言い逃れをするよりも、正直に自分の非を認めることのできる人は、主に受け入れられます。そこから聖霊によって新しく始められるなら、主の祝福を受けます。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

